



Report

クラウドファンディング実施報告会を開催しました

4月25日、「みんなでコロナを乗り越えるぞ基金@町田」の活動報告会をオンラインで開催しました。基金の助成を受けた12団体のうち下記9団体が登壇し、助成金で実施した活動と成果、活動を通じて発見した課題を報告。その後に、質疑応答やコロナ禍で起きている課題を共有しました。

コロナ禍において、人と人の接点が減っている現状や経済状況の悪化に起因する課題の報告も多い中、柔軟できめ細かい支援を継続している市民活動団体の取り組みの価値を再確認しました。本基金へのたくさんの温かいご支援をお寄せいただき、本当にありがとうございました。

報告団体 | 主な報告内容(発表順)

ごはん元気!プロジェクト	生活困窮者へのお弁当配布とランチ会開催
Dフレンズまちだオンラインソーター実行委員会	高齢者へのオンラインサポートとソーター育成
今年も相原を盛り上げるぞプロジェクト2020	コロナ禍における地域交流事業の実施
探求フリースクール・マチラボ	不登校の保護者を対象としたオンライン対話、不登校経験者によるトークイベントの実施
生活困窮者支援りばん	路上生活者等への食事等配布と相談対応の実施
つるかわ無料塾 結い	オンライン学習支援と学習支援に通う子ども向けのネットリテラシーセミナーの開催
NPO法人ゆどうふ	ひきこもり等の若者の通う居場所の感染予防
特定非営利活動法人日本ペルー共生協会(AJAPE)	外国にルーツを持つ子どもを対象としたオンライン学習支援とネットリテラシーセミナーの開催
ゆうやけプロジェクト	子ども食堂の感染対策と子ども向けオンラインイベントの実施

印象的だった質疑応答

質疑応答では、報告者から報告者への質問も多数ありました。中でも印象的だった「活動の持続性」についての問い合わせられた、2つの回答をご紹介します。

Q コロナ禍において、自団体の活動を続けていくために心掛けていることは何ですか?

- 団体の「得意や強さ」ではなく、「できないこと(弱さ)」で他の団体と連携すること。全て自団体で解決しようと思わないことが大切だと思っています。
- 団体のメンバーとの徹底した情報共有と活動継続のために必要な場所の確保。資金面等の公的支援も期待しています。

Event Schedule

団体活動を活性化する知識やスキルを学んでみませんか?受講に際してのご質問も隨時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

※今後予告なく講座内容等が変更になる場合があります。
最新情報はサポートオフィスのHPでご確認ください。

6/5 開講 6/19・7/10開催分予約受付中

対話や会議を円滑に進めるスキルを高める

CHECK!

ファシリテーション基礎講座



NEW 8/19 開講

活動資金の集め方を実践的に学ぶ
ファンドレイジング講座

CHECK!

ファンドレイジング(資金獲得)の知識を学ぶだけではなく、実行に向けた具体的な計画を立てることまでを学ぶ実践的な講座です。

公式SNS 更新中!

検索



町田市地域活動
サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

町田市地域活動サポートオフィス

検索

www.machida-support.or.jp

042-785-4871

受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)



まちづくりのコミュニケーション誌

サポートオフィス通信

vol.18
2021.6

TAKE FREE

今月のコンテンツ

市内で活動する団体・個人が交流し、協働のきっかけになると、そして市民が地域活動を知り、始めるきっかけとなることを目指し開催している町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」(以下、「まちカフェ!」)。今年も開催が決定しました。今回は、「まちカフェ!」実行委員会準備会の様子と団体活動におけるSDGsについて特集しました。団体活動のヒントとしてお読みいただけます。



Now!

第15回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ!」
実行委員会準備会を開催しました。

5月20日、オンラインで行われた「まちカフェ!」実行委員会準備会は、午後・夜と同内容を2回に分けて行い、50名を越える方々にご参加いただきました。会の前半では「まちカフェ!」の開催目的や今後の予定、会議の進め方などを検討。その中で、「まちカフェ!」が目指す(協働)についても具体例を挙げながら確認しました。後半のグループワークでは、「まちカフェ!」で挑戦したいことを自由に語り合い、共有。中でも団体の枠を越えた協働プロジェクトについて、昨年度よりも多くの話題が出たのが印象的でした。今後、皆さんからの発案を事務局で取りまとめ、プロジェクトの発足や作戦会議の実施など、実現へ向けて推進したいと思います。

「まちカフェ!」が目指す協働

孤立

交流

協力

協働



一般的に「協働」は行政と市民との協働を指すことが多いですが、「まちカフェ!」では、より広くとらえ、「共通の目的を実現するために互いの強み(資源)を持ち寄り、力を合わせて共に活動を進めること」と定義しています。



ワークショップで出た「今年挑戦したこと」

「まちカフェ!」期間中、町田市の地域活動団体の取り組みを楽しみながら知らせるために、団体が行なうイベントに参加したらスタンプをもらえる「まちカフェ!」スタンプラリーをやってみたい。

シニア層が、地域やそこで活動している団体に出会う場を「まちカフェ!」を通じて作りたい。1団体だけでは実現できないので、会員にシニアが多くいる他団体と協働し、実現できたらと思う。

参加団体のみなさんと一緒にYouTubeライブを使い、団体が手がけた作品や商品を販売する「ライブコマース」をやってみたい。単にモノを売るだけではなく、販売する人やその団体の魅力も伝えられる場になるといいな。



今後の予定

実行委員会

- 第1回 6月17日(木) 実行委員会発足
- 第2回 9月16日(木) 企画内容決定
- 第3回 10月21日(木) 開催直前PRタイム

スキルアップ講座

- イベント集客&チラシ作成講座 8月 開催予定
- 動画制作初心者さん講座 9月 開催予定



「まちカフェ!」参加申し込み方法

現在、「まちカフェ!」の参加団体と「まちカフェ!」全体の企画実施・運営サポートをするボランティア「おうえん隊」の募集を行っています。**申込み期限は8月末日**。実行委員会は原則オンラインで開催しますが、オンライン参加が難しい方向けに、一部対面での開催も予定しています。詳しくは「まちカフェ!」実行委員会事務局までお問い合わせください。

詳細、申し込みはコチラ!

<https://machida-support.or.jp/news/machicafe2021/>

お問い合わせ
TEL: 042-785-4871 (平日9時~18時)
E-mail: machicafe@machida-support.or.jp





Pick up | 3つのトピックスで知る 団体活動のプラスになるSDGs

SDGs(エスディージーズ)は、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の頭文字を取った言葉。

目や耳にする情報は増えてきましたが、自分の生活や自団体に生かす視点を見つけるのは、

少し難しさを感じている方もいらっしゃるのではないでしょうか？

そこで今回は、私たちサポートオフィスが考えている「今、地域活動団体のみなさんと一緒に知っておきたいSDGs」に

について3つのトピックスにまとめました。団体内でSDGsを話すきっかけにしていただけると嬉しいです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは 「誰ひとり取り残さない」社会を作るための約束

SDGsは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」における、中心的な考え方のこと。**未来の世代に安心してバトンを手渡せる世界にするため「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」など17のゴール(目標)と169項目の具体的なターゲット(達成目標)が設定されています。**実はSDGsにはMDGsという前身の国連目標がありました。しかし、さまざまな格差、母子保健、衛生の分野などで達成率が低く、また先進国主導で目標を決定していたことへの反発など、課題も山積。そのことを受け、SDGsでは「誰ひとり取り残さない」という理念を掲げ、「世界レベルの約束事」として2030年を期限に取り組みが開始されました。

SDGsのポイント

- 「つづかない」世界を「つづく」世界へ変える
 - 世界から貧困をなくす
 - 途上国・先進国のすべての国が含まれる
- SDGsのキーワード
“誰一人取り残さない”

MDGsとの比較

2001～2015年

MDGs ミレニアム開発目標

- 8ゴール / 21ターゲット
- 途上国の目標
- 国連の専門家主導

2016～2030年

SDGs 持続可能な開発目標

- 17ゴール / 169ターゲット(包括的で互いに関連)
- 全ての国の目標(=ユニバーサリティ)
- 国連の全加盟国で交渉(実施手段、資金・技術)

こんなイベントを行いました!

SDGsでお互いを知ろう！つながろう！

4月23日、SDGsと自分たちの活動との結びつきやSDGsを切り口に参加者同士がどうつながるのかを感じるセミナーをオンラインで実施しました。今回は、SDGsの基本の「き」を学ぶとともに、自分たちの活動とどう結びついているのか、SDGsを切り口に参加者同士がどうつながれるのかについて、講義とワークを通じて考えました。

参加者の声

- 身近な物事に落とし込んだことで、自身の活動がSDGsの一環を担っている事を知りました。
- SDGsは思った以上に身近で、いつでも始められるという認識を改めて持てました。
- 他団体とパートナーシップを築き、共に課題解決するという視点を得ることができました。

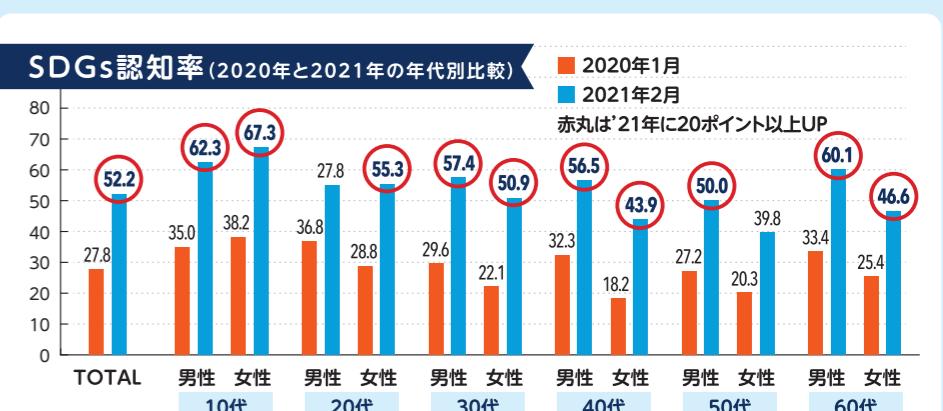


▲親子向けイベントの開催団体やSDGsに興味のある学生にも参加いただきました



小学生は学校で学ぶ時代に! SDGsは、未来を語り合う共通語

実際にSDGsは日本でどれくらい的人が知っているのでしょうか？SDGsの認知率を年代別に調査したデータ^{*}によると、昨年度との比較で認知率は全世代で約2倍になり、特に10代は、男女とも6割を超みました。SDGsは学校教育でも取り入れられていることから、近い将来、若い世代のほぼ全員がSDGsを知る時代がくるでしょう。この潮流の中で、市民活動にもSDGsの視点を盛り込むいい時期が到来してきたと言えると思います。



*出典:「インテージ知る Gallery」2021年2月24日公開記事 ここでSDGs認知率は、SDGsについて「内容を知っている」「内容をある程度知っている」「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の合計で集計。 *2020:n=3,206 2021:n=2,544



リンクしあう17の目標 自分の生活や団体活動を見直すものさしに

SDGsは、地球温暖化を筆頭とした環境問題が話題にされやすいですが、17の目標を丁寧に見していくと、**〈3:すべての人に健康と福祉〉**、**〈8:働きがいも経済成長も〉**、**〈11:住み続けられるまちづくり〉**、**〈16:平和と公正をすべての人に〉**など、**日常生活や団体の取り組みに密接に関係する項目**が多く、またそれらは**互いに結び付きのある目標**であることがわかります。SDGsは「遠い国のこと」ではなく、自分たちの暮らしや働き方、地域での活動が「世界」や「未来」と直接つながっていることを意識する「ものさし」としても活用できるのではないかでしょうか。



▲いつもの行動もSDGsの達成に貢献

まとめ

SDGsを事業の安定的な継続や、同じ志の団体や人との出会いを広げるきっかけに。

SDGs目標の16と17では、「参加」「包摶」「パートナーシップ」を掲げています。このことからも、持続可能な世界は、多くの人が参加し、つながることなしでは達成できないことを強調しています。そのためにも声なき声を拾い、サポートや支援を展開する地域の活動が重要です。SDGsは、そうした活動が持続可能な世界にとって、大きな価値があることを教えてくれています。

CHECK!

SDGsを団体活動に取り入れた事例などをサポートオフィスのホームページのコラムで紹介していますので、ぜひご覧ください。
SDGs初心者のためのSDGs入門ガイド



まちだづくりサロン わたしたちのことばで語り合うSDGs

活動にSDGsを取り入れている方や団体をお招きするサロンを開催します。SDGsについて草の根レベルから一緒に考えたり、意見交換や仲間づくりができる継続的な場にしていこうと思います。ご参加をお待ちしています！

CHECK!
8月より
開催予定

